



平成29年と平成30年は、大政奉還と明治維新からそれぞれ150年にあたる。この全国的にも意義深い2か年に、高知県の幕末維新期の歴史を辿る博覧会を県内全域で開催し、多くの観光客の誘致を図るとともに、その開催を通じて、地域地域における歴史資源の磨き上げ、磨き上げた歴史資源と地域の食や自然などを連動させた周遊コースづくり、外国人観光客を含めた受け入れ環境基盤の整備に取り組み、本県の歴史観光の基盤づくりを図る。

開催趣旨

入館者数
【3/4~
7/17】

<全会場23施設>

合計 606,505人 (基準値: 1,360,915人、H30目標: 1,729,000人)

(注) 基準値は、概ね平成24年から平成27年までの4か年平均の数値(4年分データがない場合は準じる平均値等で設定)

<メイン会場>

県立高知城歴史博物館 103,594人 (基準値: -、H30目標: 120,000人)

<地域会場20施設>

合計 329,291人 (基準値: 706,469人、H30目標: 859,000人)

【ゴールデンウィークの状況】4/29~5/7(9日間)

主要観光施設の利用状況

262,839人 前年比17,199人増 (7.0%増/昨年10日間)

これまでの取り組み状況

1. 歴史資源の磨き上げ(リアル化)

将来にわたって活用できる歴史資源の整備

1 展示内容等の充実強化

- 施設改修や展示リニューアルなど地域会場の磨き上げ
 - ・室戸世界ジオパークセンター ⇒ 映像体感ボックスの新設等
 - ・中岡慎太郎館 ⇒ 展示ケースの増設、照明のLED化、床面バリアフリー化
 - ・龍馬の生まれたまち記念館 ⇒ パーチャル4面シアター等新コンテンツの導入
 - ・いの町紙の博物館 ⇒ 土佐和紙の歴史動画のリニューアル等
 - ・佐川町立青山文庫 ⇒ 展示ケースの増設、耐震化等の施設改修
 - ・宿毛歴史館 ⇒ 展示ケースの増設、モニター設置による展示解説の充実 など

2 周辺歴史資源の基盤整備

- 史跡への解説板等の設置による周辺歴史資源の磨き上げ
 - ⇒ 岡豊山への望櫓の設置(南国市)、二十三土閘連施設への解説板設置(田野町)、五島家安芸屋敷の整備(安芸市)、史跡解説板の改修(香南市)、開成館跡解説板の改修(高知市)、名教館等での解説パネル設置(佐川町) など

3 館内ガイドの強化

- 土日祝や多客期における館内ガイドの配置支援
 - ⇒ 12会場14ポスト配置(5月末現在)

4 多言語対応

- 増加する外国人観光客の受け入れ態勢の充実強化
 - ⇒ wi-fi整備(22会場で終了)、展示解説等の多言語化(15会場でほぼ終了) など

2. 観光クラスターの形成

地域の観光事業者同士の連携による周遊コースの形成

1 周遊コースづくり

- 各会場や主要スポットを巡るモデルコースの設定
 - ⇒ 市町村エリア: 60コース、広域ブロックを含む県内周遊: 23コース
- スタンプラリー等の実施 ⇒ 7市町村で実施中
- 周遊パンフレットやマップの作成 ⇒ 博覧会にあわせて、新たに13市町村で作成
- 市町村単位の観光クラスター協議会による事業者間連携の強化

2 二次交通の整備

- 広域単位の周遊バス運行や企画切符の造成
 - ⇒ しまんと・あしずり号(地域会場特典付き)の運行、志国高知 幕末維新博 電車一日乗車券や幕末維新博安芸・室戸フリーきっぷの造成 など

3 周辺ガイドの強化

- ガイド研修によるスキルアップやガイドツールの充実
- 新たなガイド組織の立ち上げ
 - ⇒ 田野町(まちあるきガイド 田野案内人「賛」) など

3. プロモーション

歴史資源の磨き上げ等と一体となったプロモーションの展開

1 大政奉還150年等を活用した全国的な話題づくり

- 全国的な盛り上がりの創出
 - ⇒ 「新国家」龍馬書簡を活用したプロモーション(1/13記者会見)
- 首都圏等のメディアを活用した広報
 - ⇒ TV、新聞、WEB、雑誌等での露出
- 「平成の薩長土肥連合」による4県共同観光PR活動
 - ⇒ スタンプラリーの実施 など

2 博覧会の開催を広く周知する

- 旅行会社向け商談会・セールス活動
 - ⇒ 東京(5/17: 29社)、大阪(5/22: 22社)、名古屋(6/12: 13社)
- 企業とタイアップした広告 ⇒ 翼の王国 4回、スカイワード 3回、FDA春号
- PRツールによる広報 ⇒ 公式ガイドブック24万部、イベントブック22.5万部 など

今後の対応方針

1. 歴史資源の磨き上げ 2. 観光クラスターの形成

① 地域会場の磨き上げを継続して支援

⇒ 四万十市立郷土資料館、ジョン万次郎資料館、椿原千百年物語りをはじめとする地域会場の展示リニューアル など
⇒ 学芸員の派遣による技術的支援(土佐山内記念財団へ委託)

② 周辺歴史資源の整備を支援

⇒ 宿毛市林邸や津野町片岡直輝・直温生家など現存する旧家を活用するためのリニューアル、椿原町脱藩の道周辺への看板設置 など

③ ガイド体制の充実

⇒ 地域会場の展示解説や周辺観光案内を行う館内ガイドの配置支援を継続
⇒ まち歩きプログラムなどガイド研修への支援を継続

④ 多言語対応への支援

⇒ 館内の展示解説を中心とした多言語対応等を推進

⑤ 観光クラスターの形成

⇒ これまでの取り組みを継続しつつ、周知に向けた情報発信を展開

● PDCAサイクルの確立と実行

⇒ モデル地区(室戸市、いの町、宿毛市)において先行実施
指標を設定・データ等を集約 → 現状を評価し改善の方向性や対応案を検討 → 市町村等と対応案を協議・調整 → 改善策を実施・地域本部等によるサポート

3. プロモーション

① 全国的な盛り上がり創出(タイミングを捉えたプロモーション)

⇒ 坂本龍馬書簡を活用したプロモーション
⇒ TVや映画、書籍などと連携したPRを検討
・大政奉還150年(10月)、龍馬没後150年(11月)、明治維新150年(1月~)、大河ドラマ「西郷どん」(1月~)
・県立坂本龍馬記念館リニューアルオープン(4月)

② 「平成の薩長土肥連合」や全国龍馬社中とのタイアップなど、本県とゆかりのある他県等と連携したプロモーションを展開

⇒ 大政奉還記念ウォークの開催 など

③ 効果的な旅行会社向け商談会・セールス活動

⇒ 福岡(7/6)、広島(7/19)、岡山(7/20)、東京(9/26)、大阪(10/11)、名古屋(10/24)、東京(1/18) など

④ さらなる周知や地域周遊を促すための、きめ細かな情報発信を展開

⇒ 定期的なニュースリリースの配信、HPリニューアル など

高知県観光のレベルアップへ!
歴史・食・自然を連動させた観光地づくりを推進

1. 実施計画における博覧会の名称及びサブタイトル

名称：志国高知 幕末維新博

サブタイトル：～時代は土佐の山間より～

2. テーマ

京や江戸から遠く離れた土佐の山間から、なぜ多くの若者が維新の志士となって飛び出し、また、その後の自由民権運動に関わっていくのかを探求することで、彼らを育んだ時代につながる土佐の風土・文化や地域の人々、食・自然を知っていただく博覧会とする。

■ 第二幕の展開（案）

博覧会の推進

観光・文化振興の取り組み

【第二幕】～新国家の夢は自由の國へ～

【第一幕】～新国家～

- [こと] ・大政奉還150年
- [ひと] ・幕末期に活躍した人物
- [もの] ・高知城歴史博物館オープン
・「新国家」龍馬書簡など

- [こと] ・明治維新150年
・大河ドラマ「西郷どん」
- [ひと] ・自由民権運動に貢献した人物
・殖産興業の発展に貢献した人物
- [もの] ・坂本龍馬記念館リニューアルオープン
・殖産興業

企画展・イベント

企画展・イベント

歴史資源の磨き上げ（リアル化） 将来にわたって活用できる歴史資源の整備

観光クラスターの形成 地域の観光事業者同士の連携による磨き上げた歴史資源を活用した周遊コースの形成

教育・学び

プロモーション

■ プロモーション等の展開（案）

1. 明治維新150年（1月～）

- ・H29.12頃から、「平成の薩長土肥連合」など、明治維新に関して、高知のゆかりのある地と連携したプロモーションを強化していく
- ・幕末から明治、現代まで引き継がれている土佐の風土や文化、食、自然などを、**変わらぬ高知の強み**として、情報発信を展開
- ・**坂本龍馬など、知名度の高い幕末の志士**を明治期の立役者として引き続き取り上げながら、明治期に活躍した偉人の露出を図り、明治維新で盛り上がる土佐（高知）の認知度アップを図る
- ・全国龍馬社中と推進協議会が共同開催する「第30回全国龍馬ファンの集い 明治維新150年記念 東京大会」を通じて、全国の龍馬ファンの交流と拡大を図るとともに、**龍馬のふるさと高知の魅力を全国に発信し、博覧会のフィナーレに向けて、盛り上がりを作り出し**高知への誘客を図る

2. 大河ドラマ「西郷どん」放送開始（1月～）

- ・西郷隆盛とゆかりのある坂本龍馬や板垣退助などを中心としながら、**明治期に活躍した郷土の偉人を活かして露出**を図る
- ・西郷隆盛とゆかりのある旧山内家下屋敷長屋などをPRしていく

3. 坂本龍馬記念館リニューアル（4月～）

- ・博覧会第二幕開幕の**メインエンジンとして本格始動**（企画展・イベント等）
- ・リニューアルオープンの時期を**第二幕の幕開けの第一の山場**とすべく、年明け早々からPR活動を強化

4. 自由は土佐の山間より

- ・自由民権運動、立志社、板垣退助、植木枝盛、中江兆民 など

5. 殖産興業（発展に貢献した人物）

- ・今も残る**魚梁瀬森林鉄道遺産（日本遺産）**や**土佐和紙、路面電車**などが組み込まれた**H30上期からの旅行商品化**
- ・国が殖産興業を推進する中、県内県外を含め、その発展に**貢献した土佐（高知）出身の人物（岩崎彌太郎、金子直吉、片岡直輝、直温など）**にスポットを当ててPRする

「志国高知 幕末維新博」 各会場入館者数の推移

3月4日（開幕日）～6月30日

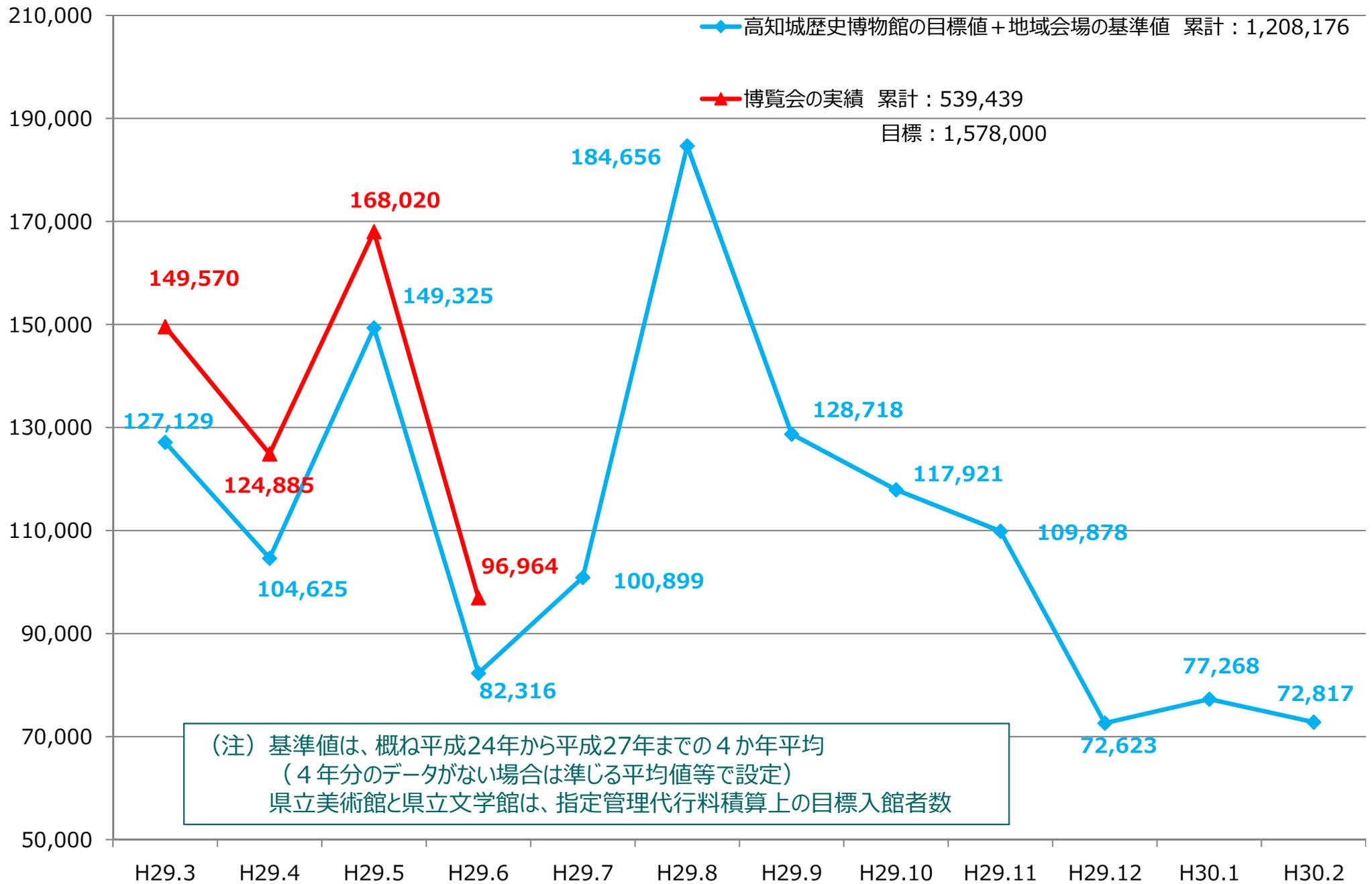


各会場入館者数 累計（3月4日～7月17日）【速報版】

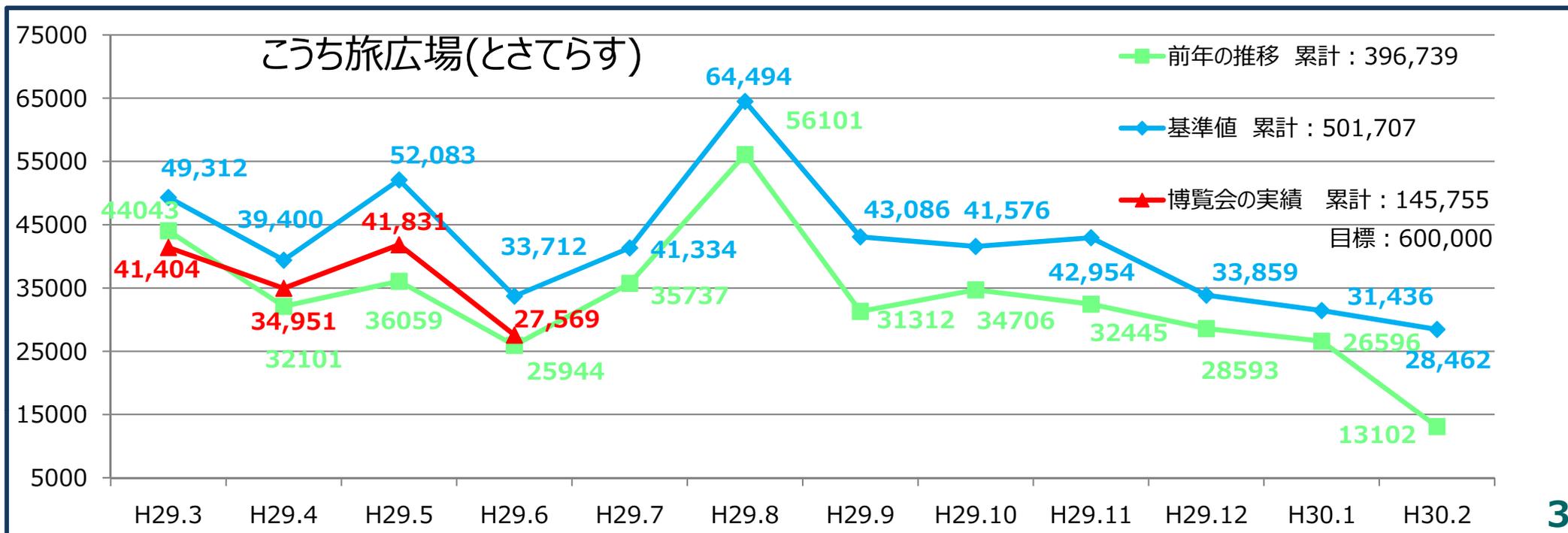
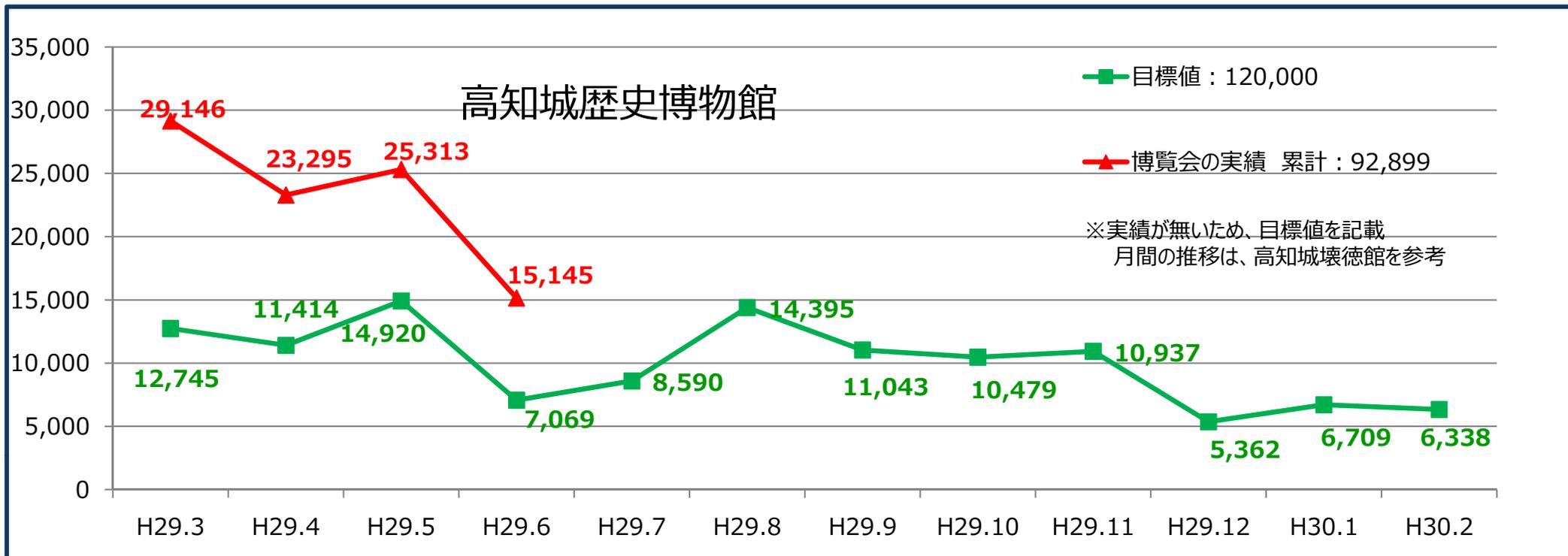
(単位：人)

メイン会場	高知県立高知城歴史博物館	103,594	地域会場	高知県立文学館	15,293
サブ会場	こうち旅広場（とさてらす）	162,930		高知市立自由民権記念館	10,245
地域会場	室戸世界ジオパークセンター	30,979		高知市立 龍馬の生まれたまち記念館	22,509
	キラメッセ室戸 鯨館	13,860		いの町紙の博物館	10,181
	中岡慎太郎館	4,911		佐川町立青山文庫	3,591
	岡御殿	2,138		吉村虎太郎邸	2,548
	安田まちなみ交流館・和	2,252		梶原千百年物語り	2,183
	安芸市立歴史民俗資料館	2,663		四万十市立郷土資料館	1,727
	絵金蔵	6,288		宿毛市立宿毛歴史館	3,238
	創造広場「アクトランド」	21,884		ジョン万次郎資料館	5,900
	高知県立歴史民俗資料館	10,637		地域会場 合計(20会場)	329,291
	高知県立美術館	16,888		合計	606,505
高知城壊徳館	139,376				

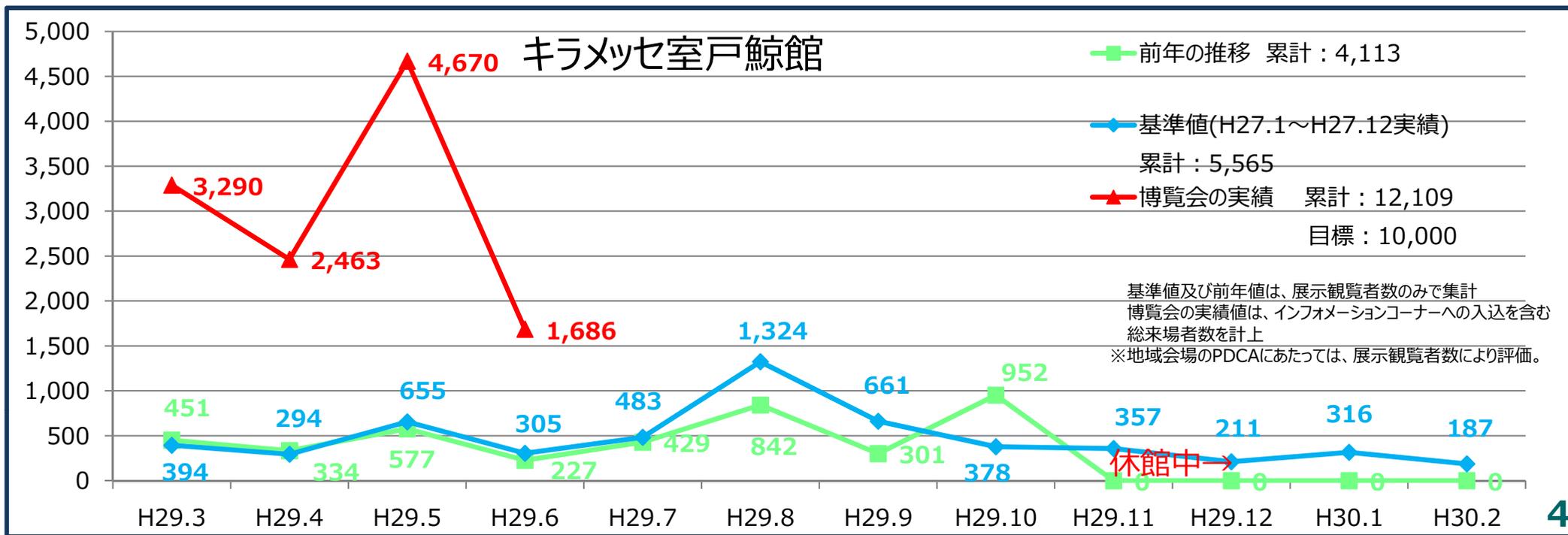
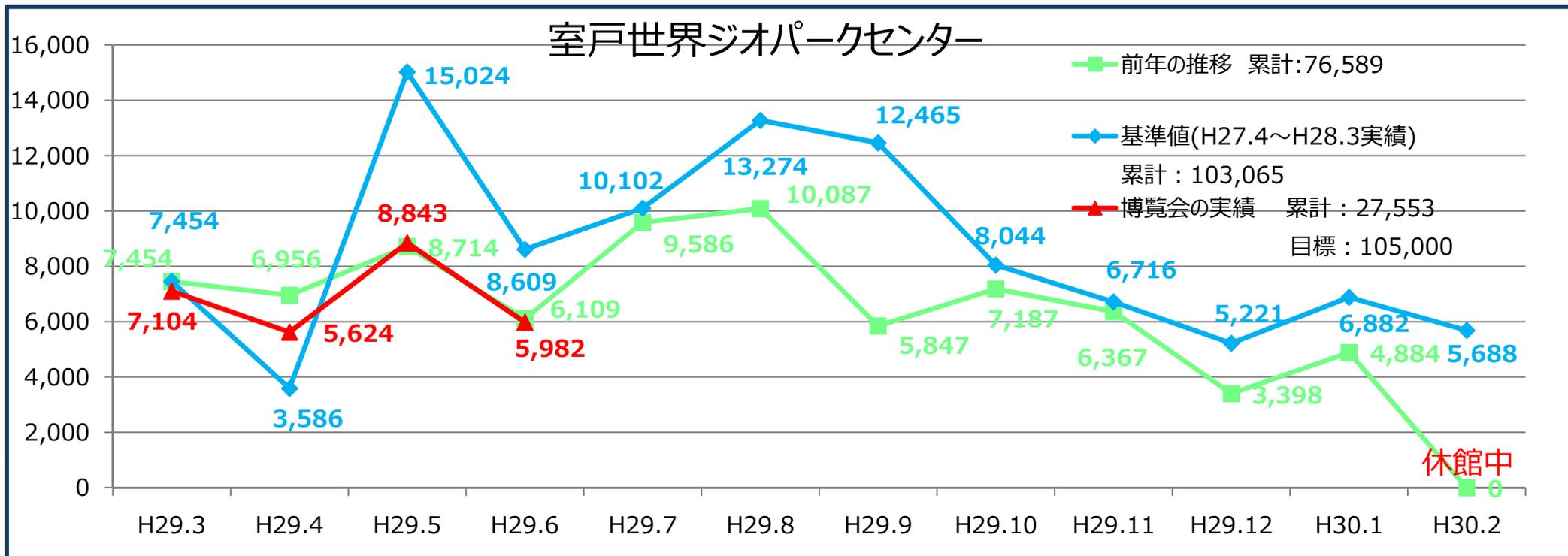
博覧会会場 合計値 (坂本龍馬記念館除く)



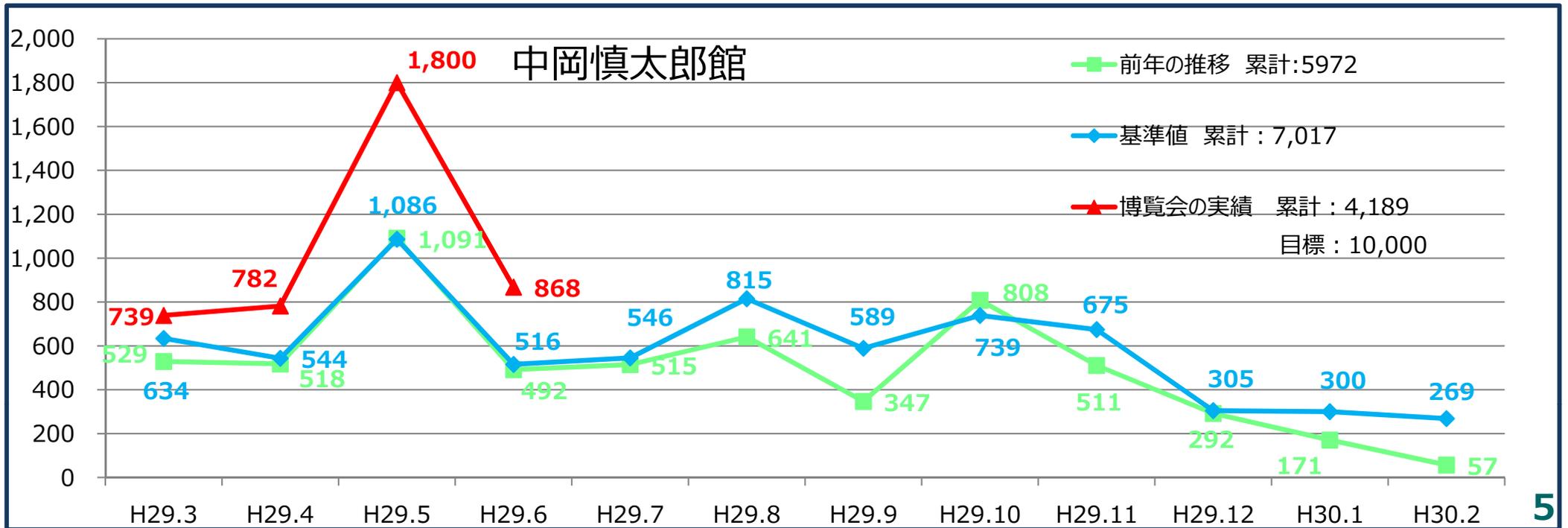
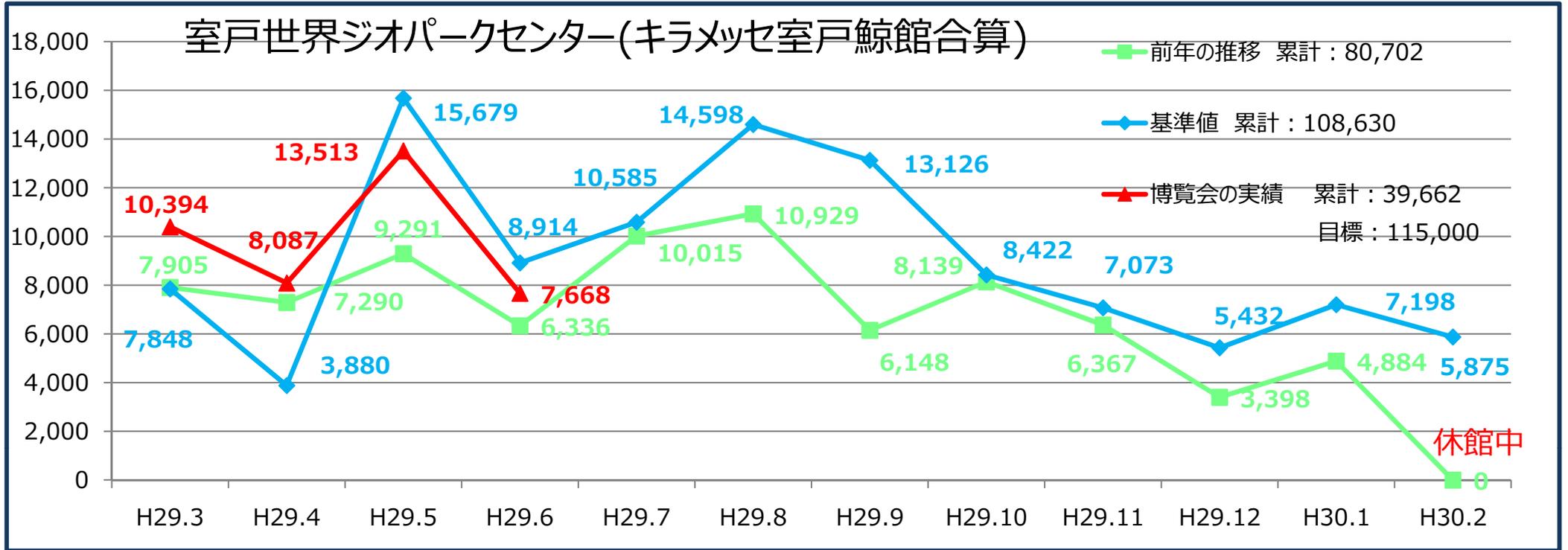
1. 高知城歴史博物館、2. こうち旅広場（とさてらす）



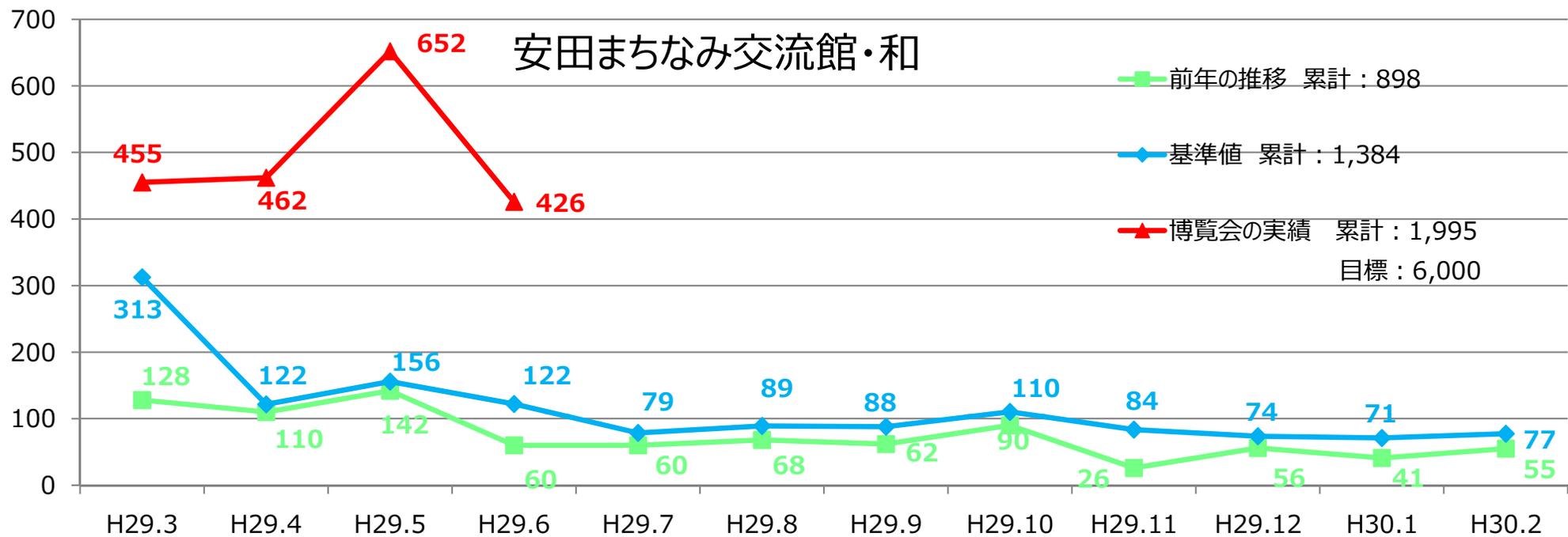
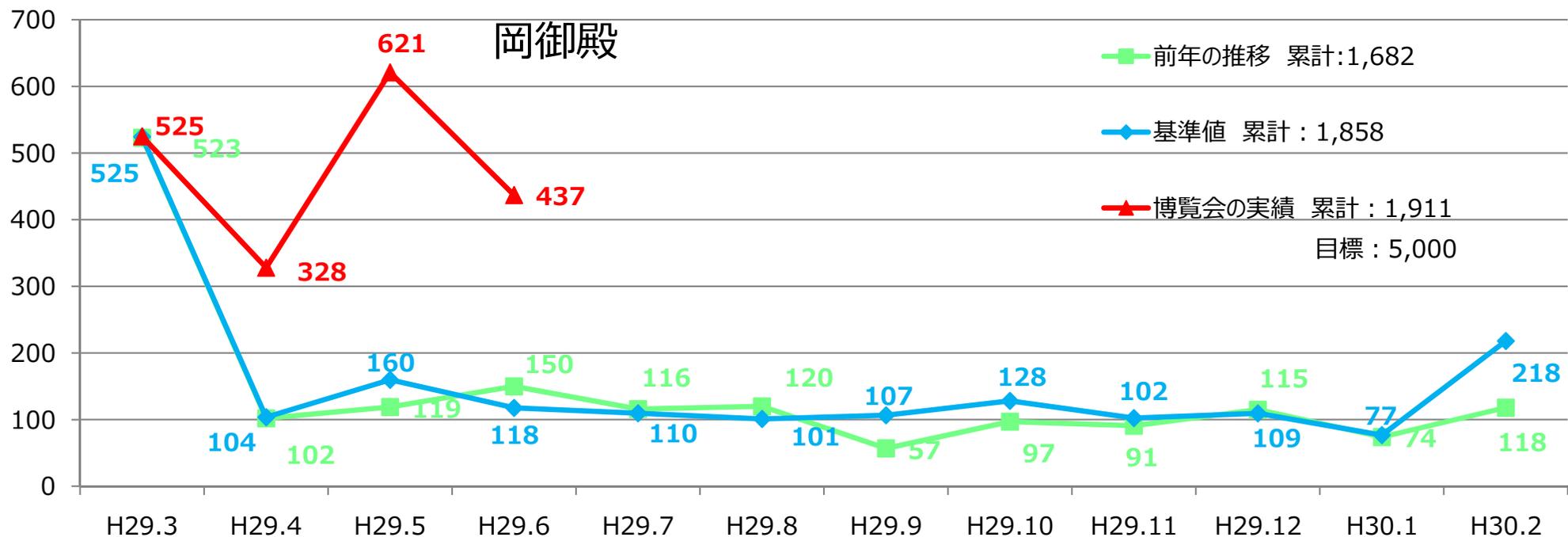
3. 室戸世界ジオパークセンター、キラメッセ室戸鯨館



3. 室戸世界ジオパークセンター（キラメッセ室戸鯨館合算）、4. 中岡慎太郎館

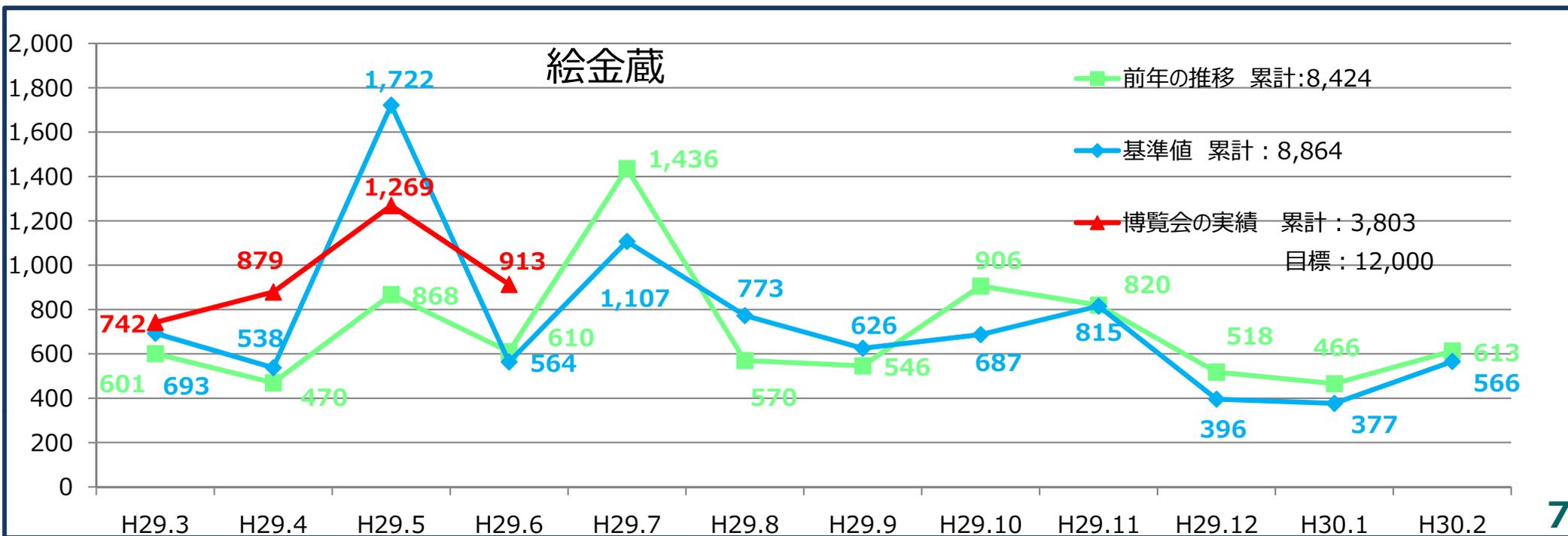
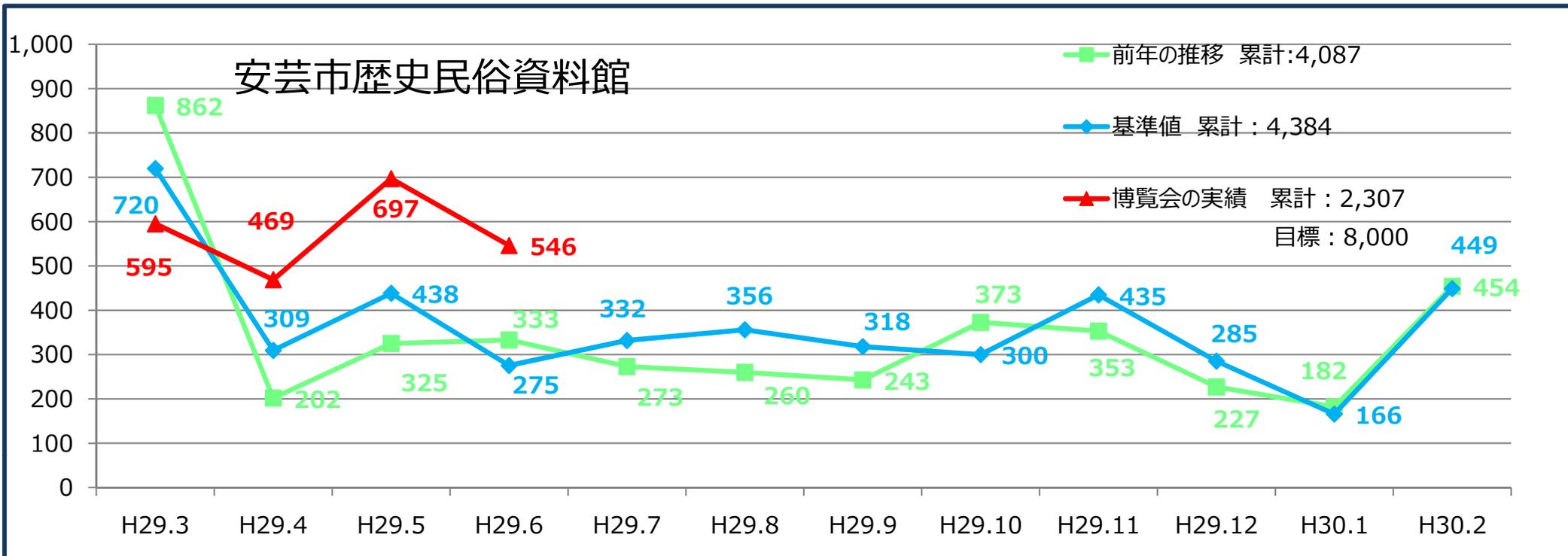


5. 岡御殿、6. 安田まちなみ交流館・和



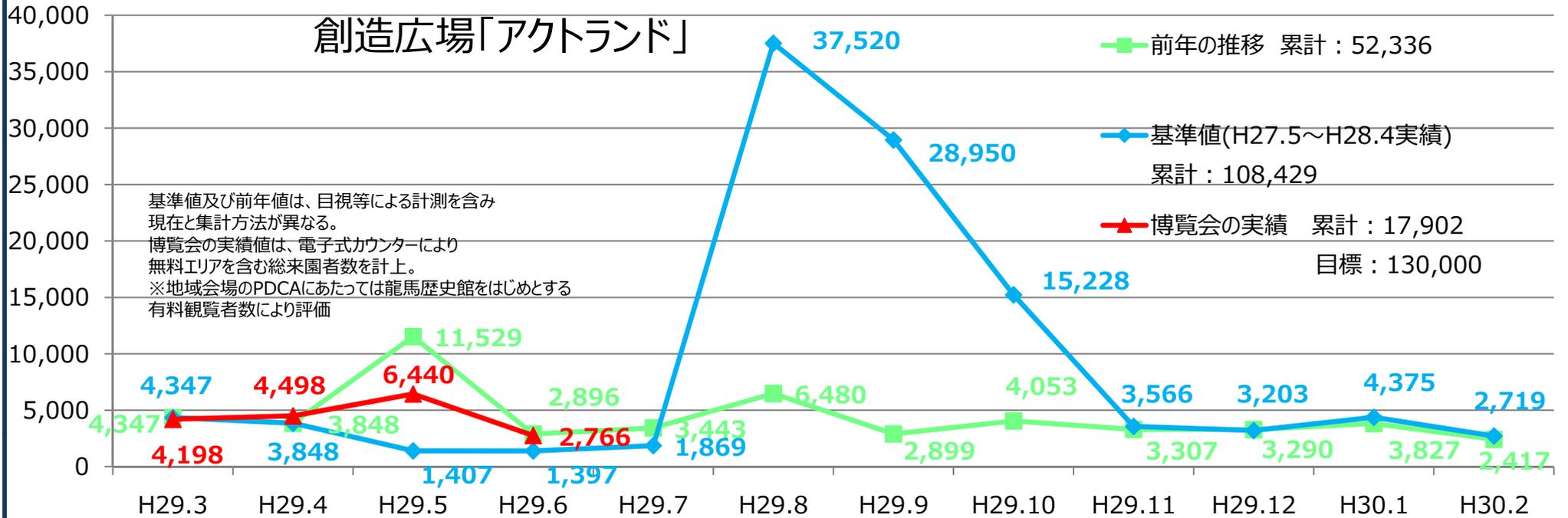
7. 安芸市歴史民俗資料館

8. 絵金蔵

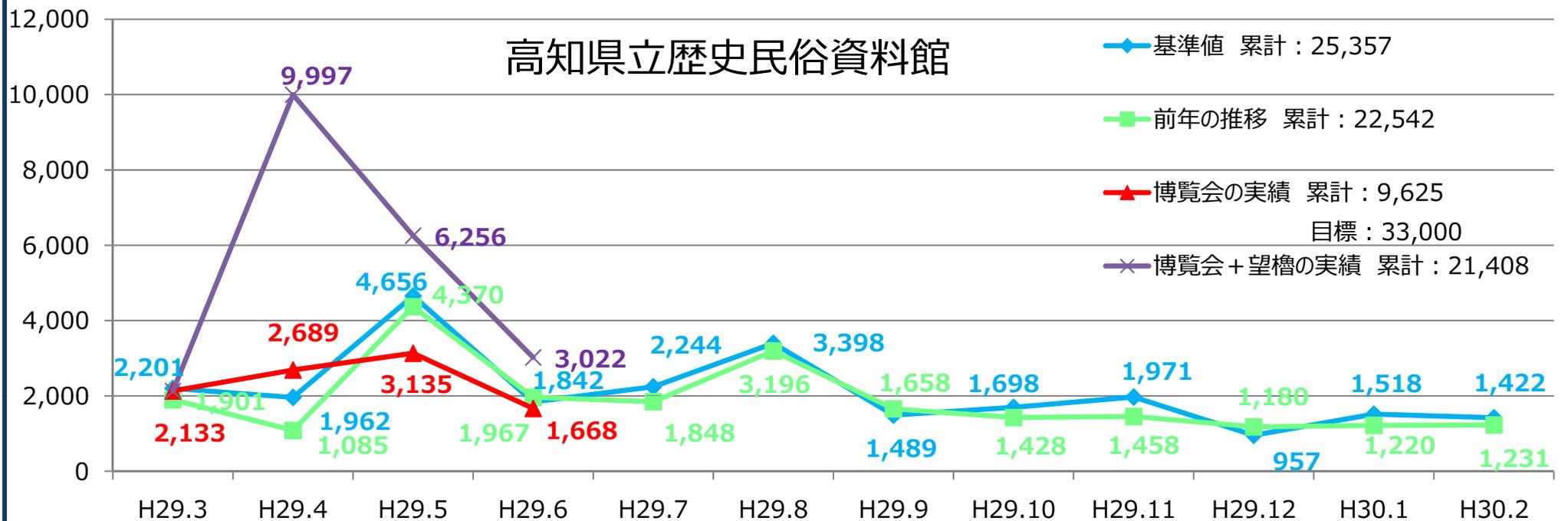


9. 創造広場「アクトランド」、10. 高知県立歴史民俗資料館

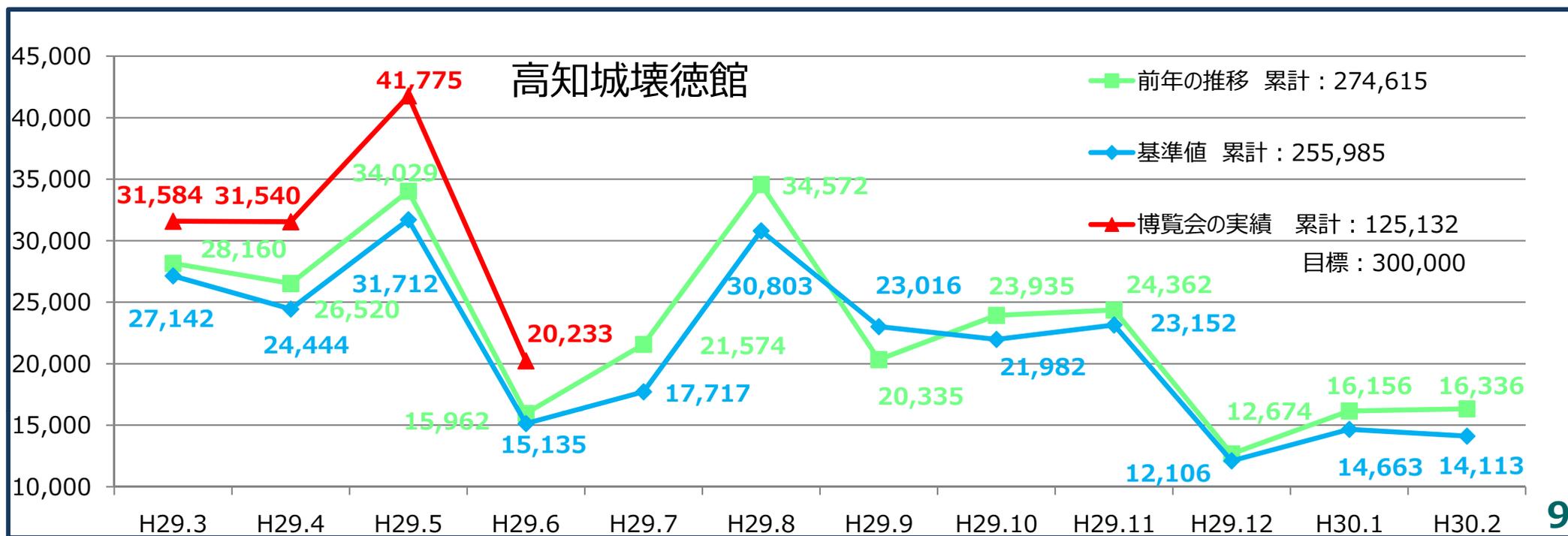
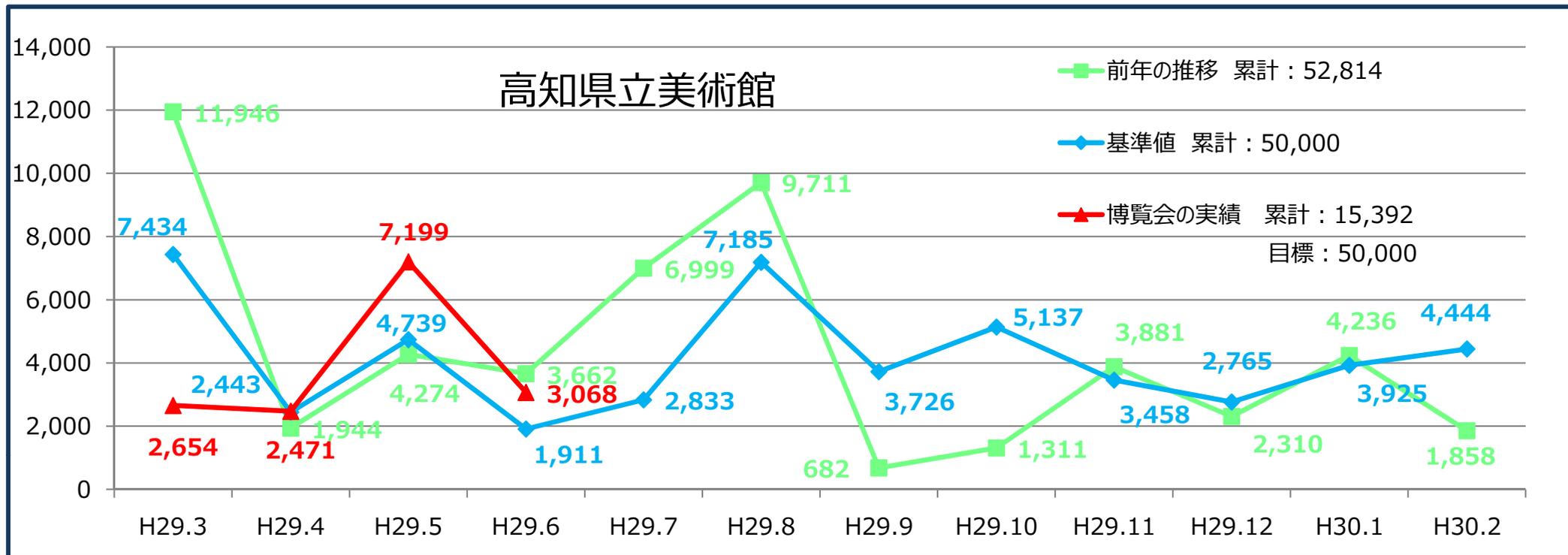
創造広場「アクトランド」



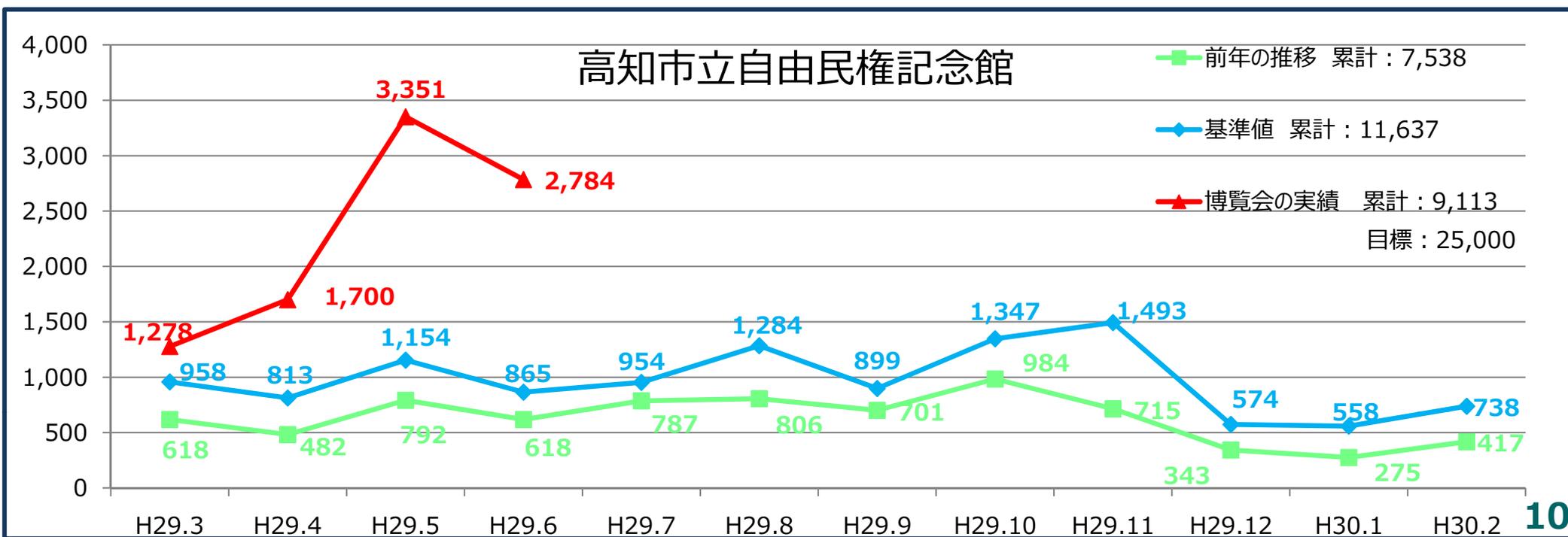
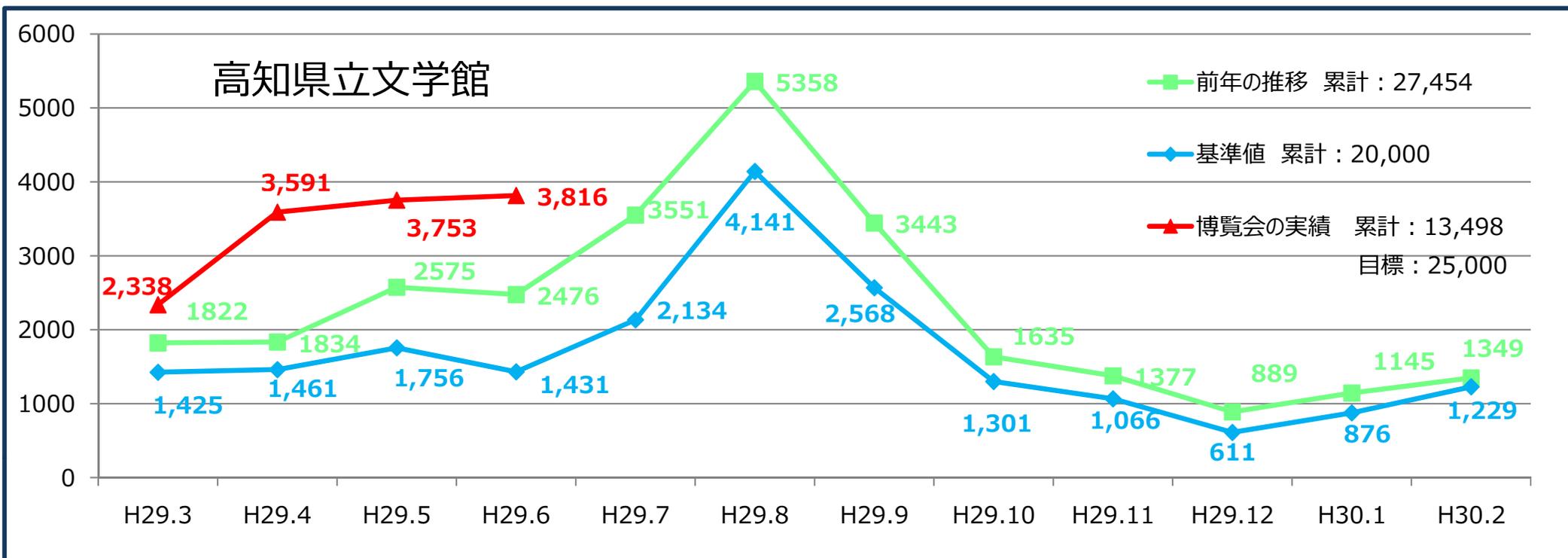
高知県立歴史民俗資料館



11. 高知県立美術館、12. 高知城壊徳館

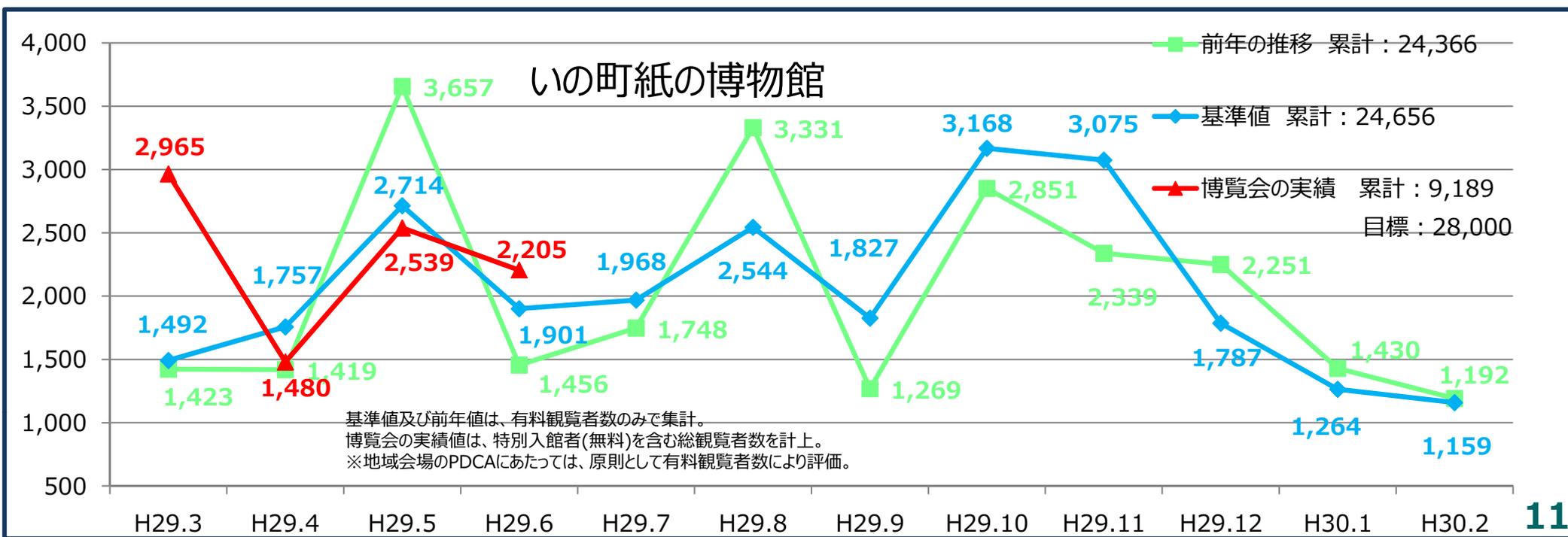
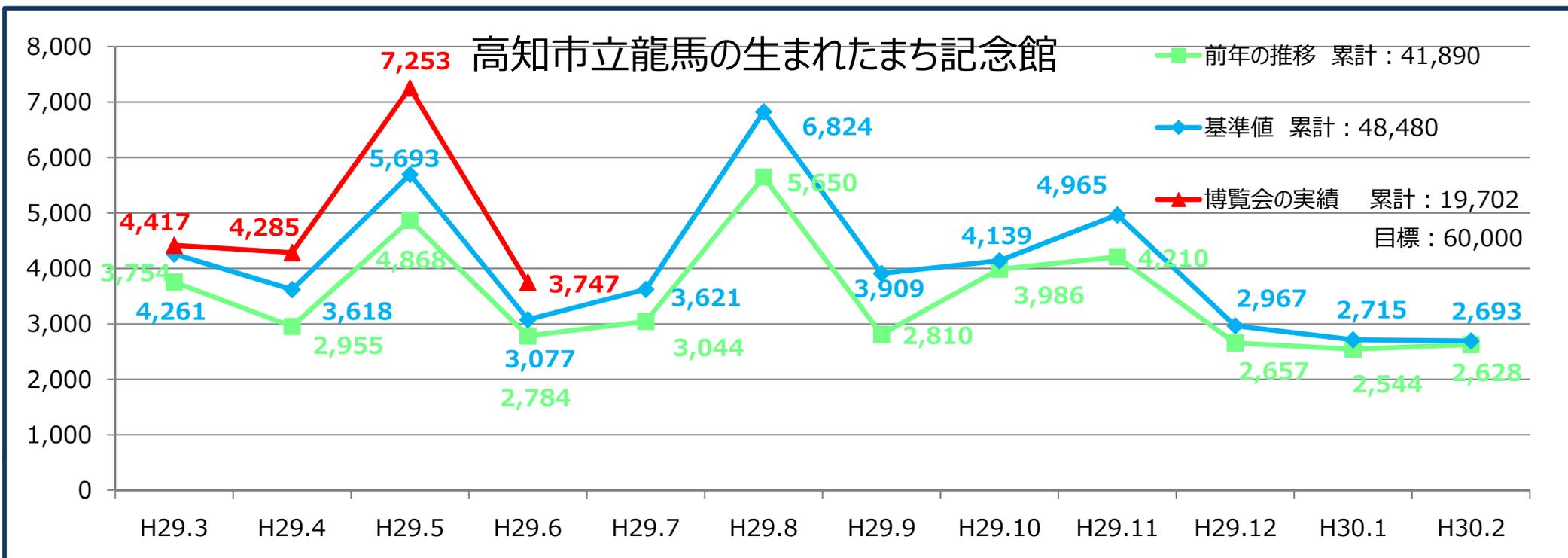


13. 高知県立文学館、14. 高知市立自由民権記念館



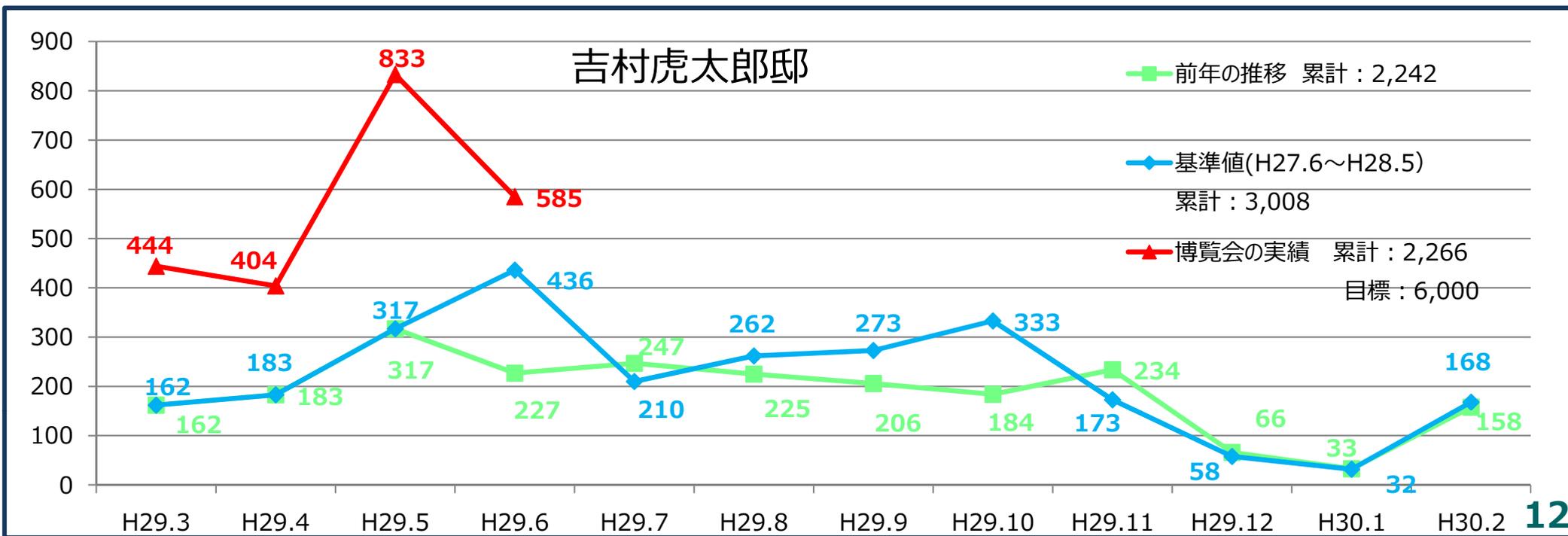
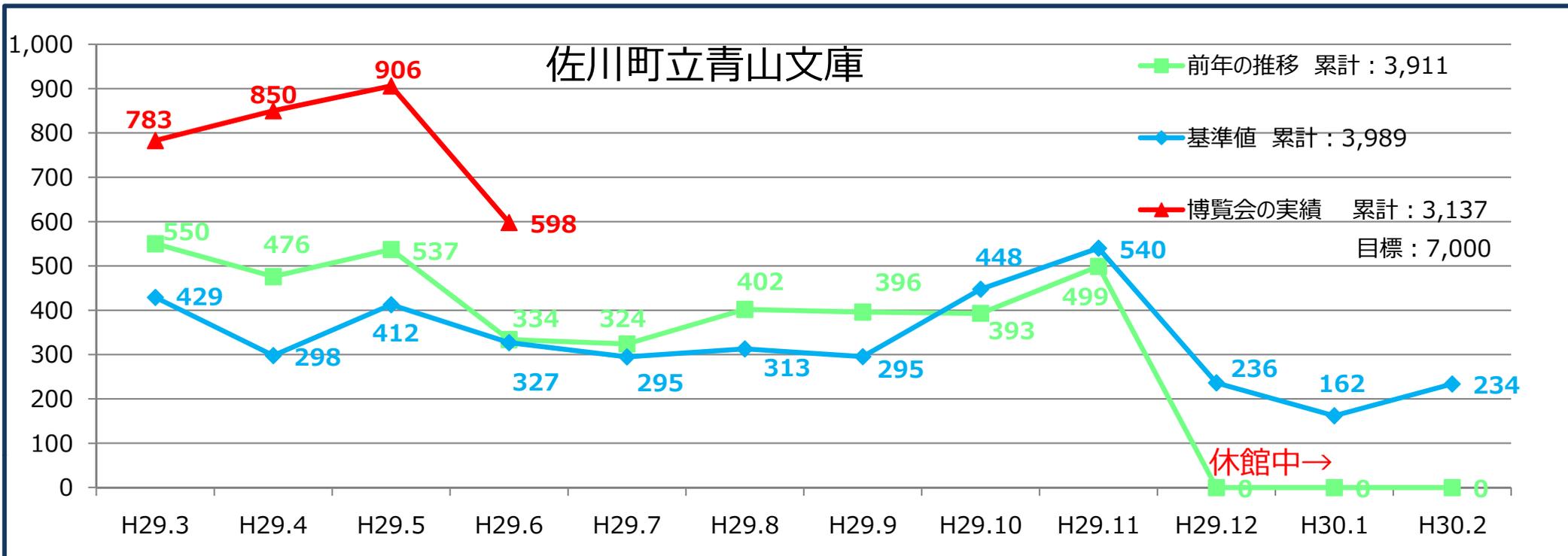
15. 高知市立龍馬の生まれたまち記念館

16. いの町紙の博物館



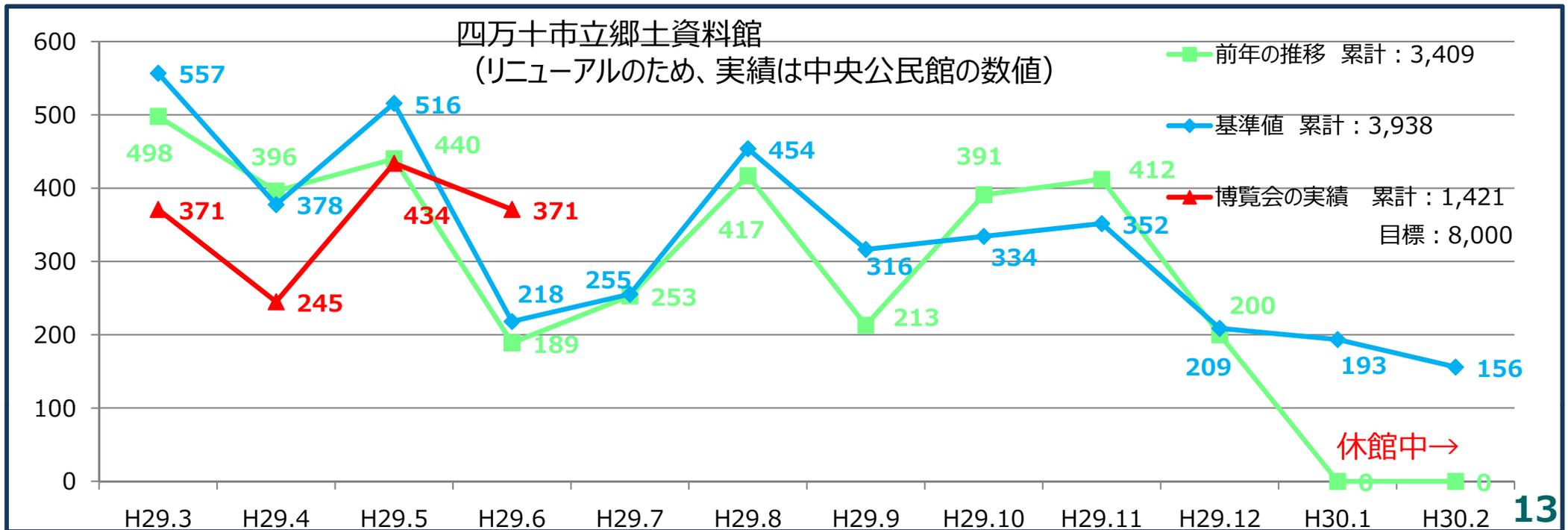
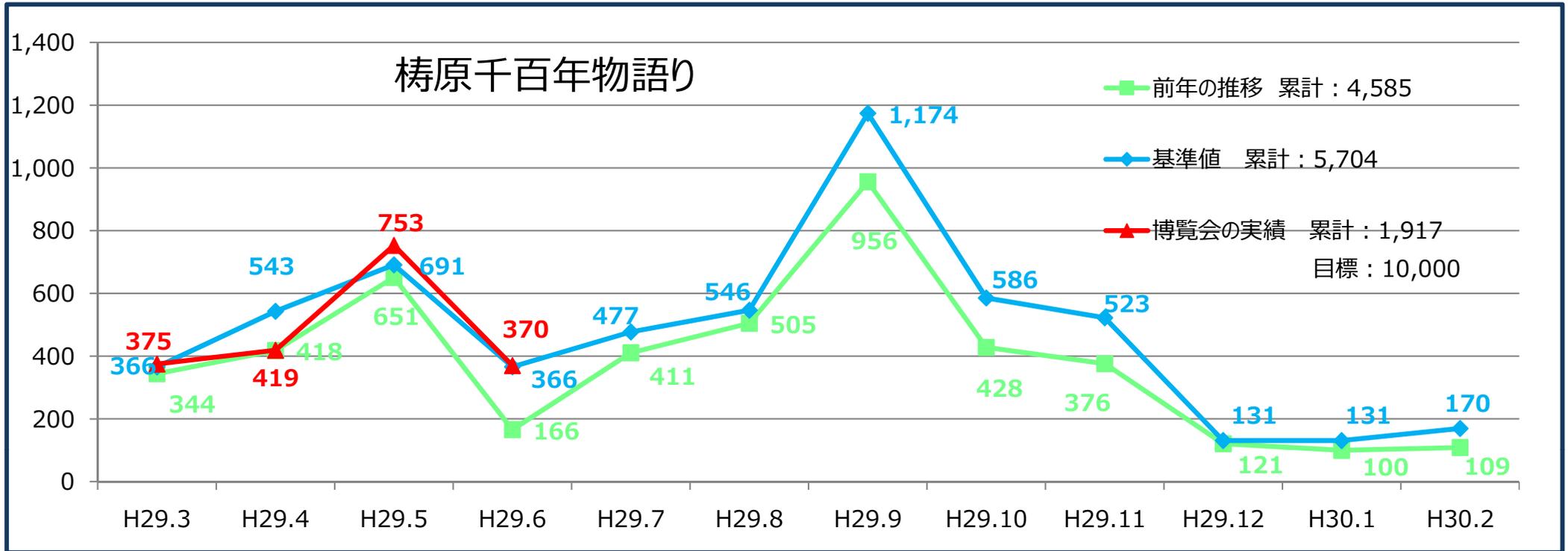
17. 佐川町立青山文庫

18. 吉村虎太郎邸



19. 栲原千百年物語り

20. 四万十市立郷土資料館（四万十市立中央公民館）



21. 宿毛市立宿毛歴史館、22. ジョン万次郎資料館

